

環境についての理解を深める 2		起案：（一社）かんきょうデザインプロジェクト 代表理事 武松 昭男	
分類	総合学習時間 環境、生活に関すること	教具	パソコン、プロジェクター 分別体験セット、中間処理品
プログラム名	分別後のごみのゆくえ		
プログラム内容	家庭で分別されたごみは、どこへ運ばれ、どのようにリサイクルされているか。追跡をします。		
プログラム目標	分別の必要性と、どのようにリサイクルされているかを明確に知ることによって、環境に対する意識の継続性やメンドクサイに負けない心を育成する。		

	概 略	コミュニケーション
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> ■ 3R(リデュース・リユース・リサイクル)の説明 	<p>質問：3R って、知っていますか？</p> <p>質問：リサイクルできるものを挙げてください。</p>
展開 30分	<ul style="list-style-type: none"> ■ 資源とごみの分別体験 実際にごみを何人かに分別してもらおう。 ■ 循環型社会の仕組み ■ 中間処理品を見せることで具体性を伴わせる 	<p>ワークショップ：家庭から出るごみを分別してもらい、正しいかどうかを確認しながら。正解を述べていく。</p>
まとめ 10分	<ul style="list-style-type: none"> ■ 質問をうける。 ■ 分別の目的は、製品をつくるための材料にするため、極力不要なものを取り除くこと。 分別は手段にしかすぎないことを伝え、手段と目的を間違わないように伝えることで、分別をする理由を考えてもらう。 	<p>質問：実際に分別をしてみたの感想を述べてもらう</p>